

## < 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

# ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第76回

ワタ



ワタはアオイ科に属する1年草です。現在中国、インド、エジプト、アメリカ等で大規模栽培されています。ワタの歴史は正確には分っていないようですが、インドでは紀元前2500年頃の遺跡から綿布が発見されていますので、それ以前から栽培されていたことは間違いなさそうです。日本では戦後一時期栽培されましたが、現在では経済面で栽培されていません。

ワタの果実から綿花を取り除いた後、種子から油を搾って綿実油を生産します。綿実油は抗酸化作用が強く、脂肪酸バランスが良く、高温にも耐えるので天ぷら油として大量に消費されています。また、抗酸化作用が強いので健康を支える油として重宝されています。種子はタンパク、脂肪、繊維リッチな飼料です。但し種子にはゴシポールという毒成分が入っているため、遺伝子組み換えによりゴシポールを含まない品種が作られたとの論文が見られます(PNAS, 2006)。なお綿花は医薬用品、衛生用品等の原料として欠かせない天然繊維です。

本画は1852年ウインクラーによる作です。